

ISO 規格発行の概要
ISO 15:2017, Rolling bearings – Radial bearings
– Boundary dimensions, general plan
(転がり軸受 – ラジアル軸受 – 主要寸法, 一般計画)

2017年7月付にて、**ISO 15**(Rolling bearings – Radial bearings – Boundary dimensions, general plan)第4版が発行されましたので、その概要を紹介します。

1. 経緯

本規格は1981年12月に初版が発行され、1998年5月に第2版が、2011年3月に第3版が発行されました。その後、2015年の5月のロンドン会議にて**ISO 492**（ラジアル軸受 – 製品の幾何特性仕様（GPS）及び公差値）の寸法範囲を大きな軸受サイズまで拡大して改正を行うことが決議され、それに伴い、**ISO 15**（ラジアル軸受 – 主要寸法、一般計画）についても、同様に寸法範囲拡大が必要であることから改正が行われ、今回の第4版の発行に至っています。

対応する**JIS**規格は**JIS B 1512-1**（転がり軸受 – 主要寸法 – 第1部：ラジアル軸受）になります。

なお、**ISO 492**については、現在も寸法範囲拡大の検討が続いており、改正に至っていません。

2. 主な改正内容

- 直径系列7を除く全ての直径系列について、大きい側に寸法範囲を拡大しました。（下表参照）

最大寸法の従来規格と改正規格との比較表

単位：mm

直径系列	ISO 15:2011（従来）		ISO 15:2017（改正後）	
	内径（最大）	外径（最大）	内径（最大）	外径（最大）
7	200	240	200	240
8	2000	2430	4000	4790
9	1900	2430	3750	4770
0	1800	2500	3550	4870
1	1500	2300	3150	4730
2	1000	1750	3000	4990
3	1000	1950	2650	4960
4	670	1500	2240	4890

- 改正により追加した寸法は、附属書Aのガイドラインにしたがって設定しています。

以上